

国際トラベルキャンプ 2024 in 広島 ヒロシマ

2024年夏、MIEF国際トラベルキャンプの
フィールドの1つとして

「広島」が選定されたことを受け、
地元の高校生・大学生の参加者および
教育関係者等の見学者を募集します。
ぜひこの機会に、チャレンジングな
国際探求プログラムを体感してください。



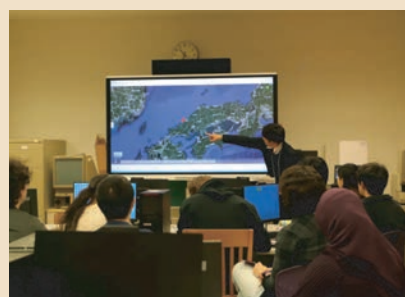
BIG PICTURE

核兵器に対する拒否感や嫌悪感を人類共通の感情として共有し、
平和な世界の実現に向けて探究を深める

ヒロシマ編の活動とスケジュール

CONTENTS

- 日本被団協代表委員を務める被爆者の箕牧智之さんのお話を聞きながら資料館を見学
- 広島アーカイブ(原爆にまつわる証言)アプリを用い、原爆ドームや平和公園を巡る
- 観啓大学にて 広島アーカイブアプリの開発者でもある東京大学大学院渡邊英徳教授らの講義後、「抵抗」と「服従」をテーマにグループ討議
- GIS技術に応用した原爆マッピング(Re:Earth)
- キャンプ参加者と広島新庄高校生徒によるポスター発表&ディスカッション
- 「アートから見る原爆」をテーマに広島市立基町高校美術部の生徒と交流
- 自分にとって平和な世界とは何か、実現するためにどうするかレポート作成



SCHEDULE

DAY 1 〈7月3日〉

- 8:30 広島新庄高校に到着、生徒と合流し広島市内へ
- 10:00 資料館見学
- 13:00 広島アーカイブアプリを用い、東京大学大学院渡邊英徳研究室グループと原爆ドーム・平和公園を巡る
- 15:00 観啓大学集合
※参加者・見学者は14:30に集合
ワークショップ①
Re:earthによる原爆マッピング、グループ討議など
- 20:00 ワークショップ②
観啓大学にてポスター作りなど

DAY 2 〈7月4日〉

- 9:00 ワークショップ③
観啓大学にてポスター発表など
- 13:00 基町高校美術部の生徒と交流
- 15:00 ワークショップ④
- 17:00 場所未定

参加・見学者募集要項

観啓大学におけるプログラム(講義・グループ討議・Re:earthによる原爆マッピング)への参加・見学が可能です。

- 定員／参加者(高校生～大学生) **10名**、
見学者 **30名**
- 日時／ **7月3日 15:00～18:00**
- 場所／広島県公立大学法人 観啓大学
1Fプロジェクトワークスペース
(広島市中区幟町1-5)

- 参加料／ **無料**
- 応募方法／当日直接参加してください

〈連絡先〉
sasak-k@shinjou.jp (広島県新庄学園内 担当者／佐々木 薫)
携帯／090-5703-4495

「探求」と「表現」を通じて、境界を越える

MIEF

海外在住の学生たちとともに
ヒロシマ探求プログラムに参加し、
新たな視点を開こう

国際トラベルキャンプ 2024 in 広島 ヒロシマ

募集

参加者 (高校生及び大学生)

見学者 (制限なし)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



Inquiry and
Expression

「探究と表現」を介する思考と
コミュニケーション

Community
for
Action

国際課題を自分ごとにする
コミュニティ形成



MIEF
Movement for
International
Education Field

(国際教育フィールド
ムーブメント)

Coexistence
with
Refugees

難民・移民とともに生きる
社会をつくる
鍵としての「地方」



MIEF

Movement for International Education Field

国際教育フィールドムーブメント

半世紀にわたりニューヨークの国連国際学校で教鞭を執った津田和男先生が代表を務める一般社団法人MIEFは、探究と表現ワークショップや海外渡航事業、難民を巻き込んだフェスティバル開催などのプロジェクトを通じ、日本各地のローカルコミュニティを核に誰もが「探究と表現」を行うことのできるフィールドを創設し、それを世界に開いていくことを目指しています。

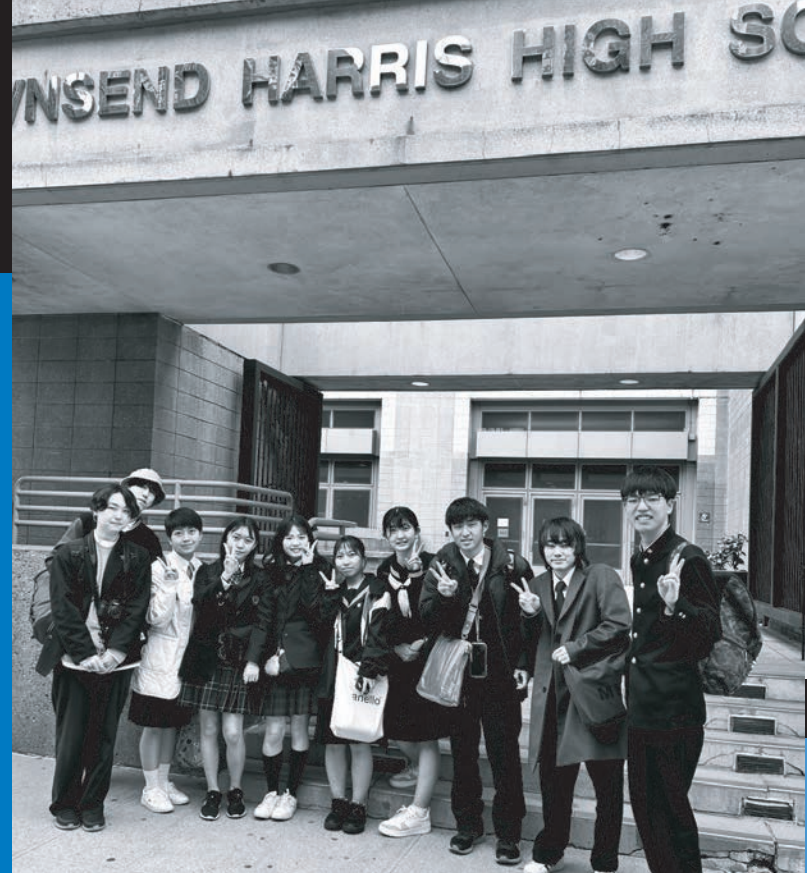
Inquiry and Expression

Community for Action

Coexistence with Refugees

Organizer 津田 和男 Kazuo Tsuda

1948年埼玉県出身。上智大学文学部卒。大学では社会学者鶴見和子のゼミに所属し、マックス・ウェーバーや柳田国男の研究に没頭した。1974年より48年間ニューヨーク国連国際学校(UNIS)にて継承語として日本語を学ぶ子どもの教育(JHL)や国際バカロレア(IB)教育を実践。この間にニュースクール社会研究大学院修士課程修了、ニューヨーク大学博士課程満期修了中退、同大学で日本語を教授する。1992年より米国北東部日本語教師会(NETCJ)会長。全米の日本語教師会の理事を歴任。2000年より日本語教育教材「季節」シリーズを刊行。2022年、AATJのLifetime Achievement Awardを受賞。



MIEF 国際トラベルキャンプ 2024

概要

海外在住の若者たち(日本語話者の高校生～大学生)

が日本各地の歴史と風土を巡り、今回のテーマ「抵抗」と「服従」について学ぶとともに、自らの探究と表現を深め、新たな形の共生社会を実現するためのアクションにつなげます。

IB教育やSDGsの理念に基づくMIEF独自のプログラムは、世界の潮流となっている探究的な学びの先進事例として注目されています。

〈プログラムの特色〉

① 探究型サマーキャンプ

日本各地の歴史や風土について、フィールドワークや研究者・芸術家との交流の中から学び、自ら「表現」することによって理解を深める。

② アクションプランの作成

「抵抗と服従」というコンセプトに基づいて、日本の地域社会を活性化させる自分自身のアクションを考える。得られた視点を帰国・帰郷後に持ち帰り、IB的思考方法により学習計画・行動計画を立てる。

③ 越境学習

自身の認知的・身体的な境界を越えて学ぶ。とりわけ

難民背景を持つ人々とともに探究・表現に取り組むことで、現代の具体的な課題に迫り、共生のあり方を探る。

④ 無形資産への挑戦

従来の資本主義的な基準では計測しきれない価値としての「無形資産」について考える。日本の地方部を巡りながらその手がかりを発見し、自身の探究と交差させ、拡張する。

⑤ デジタルスキルの提供

OSSで次世代データベースやウェブGISツールを開発するEukarya社と協働し、プログラミング知識がゼロの状態からでも扱える3D地図技術を学ぶ。

〈行程・スケジュール〉

2024/
07/01～07/02
島根県
益田市

日本において「過疎地」という概念が生まれた場所である島根県益田市からキャンプを始めます。かつての「石見」地方に関する神話を学び、現代のマンガ文化にもつながる歴史的想像力を身につけます。

2024/
07/03～07/04
広島県
新庄地区

中国山地の山懐に抱かれた広島県山県郡新庄高校の生徒たちと共に、原爆ドームや平和資料館を訪問します。核兵器のもたらす影響について「抵抗」と「服従」という観点から学び、議論するとともに探究教育を通じた国際平和の可能性を追求します。



長崎県五島列島

「五島 ひと夏の大学」のプログラムに3日間参加し、マルクス・ガブリエルやリンダ・グラットンをはじめとする哲学者のビデオメッセージや、日本の実務家との対話から、世代を超えてともに未来をつくるための思考の基盤を共有します。

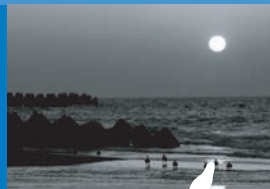
2024/
07/05～07/07
長崎県
五島列島



2024/
07/10
京都府京都市

2024/
07/08～07/14
石川県
加賀市

加賀の途中で京都に立ち寄り、実験寺院「寶幢寺」を尋ねます。対価を一切求めずに寄付のみで運営を行う、より仏教本来の形に近いお寺です。瞑想体験や僧侶との問答を通して自己の内側に触れ、心のあり方を再考します。



Yonezawa

Kaga

Tokyo

Kyoto

Hiroshima

Masuda

Goto-island

2024/
07/15～07/21
北海道白老町

海や森や火山に近い白老町という環境で、「自然との共生」「アイヌをめぐる歴史と現在」という観点からフィールドワークを行います。生業と暮らしにまつわる歴史上の抵抗と服従について洞察を深め、自分なりの表現に落とし込みます。

2024/
07/23～07/29
北海道
札幌市

米沢市で1か月間居住型キャンプを行っていたメンバーと合流し、難民背景をもつ人々とともに「国際祭フェスティバル」を作ります。伝統を体験し自ら教えるワークショップ、Re:Earthの発表会、巨大紙相撲の共同制作などを通じて、「探究」と「表現」とアクションを繋げます。

2024/
07/23～07/29
山形県米沢市

